

平成 16 年 3 月期

第 3 四半期業績の概況 (連結)

平成 16 年 2 月 9 日

上場会社名 株式会社ゴールドクレスト
 コード番号 8871
 (URL <http://www.goldcrest.co.jp>)
 代表者 代表取締役社長 安川 秀俊
 問合せ先責任者 広報室長 岡田 壮夫

上場取引所 東証一部
 本社所在地 都道府県
 東京都

TEL (03)3516 - 7111

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における

認識の方法との相違の有無 : 有

(内容) 法人税等の計上基準

法定実行税率をベースとした年間予想税率により計算しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

監査法人による監査は受けておりません。

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	44,827	-	5,634	-	4,603	-	2,210	-
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	97,256		15,309		14,295		7,437	

	1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	124.01
15 年 3 月期第 3 四半期	-
(参考) 15 年 3 月期	416.41

(注) 前年同四半期の開示はしていません。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	136,169	48,465	35.6	2,719.54
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	126,734	46,687	36.8	2,615.65

(注) 前年同四半期の開示はしていません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 3 四半期	11,864	123	10,385	31,531
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考) 15 年 3 月期	34,516	61	23,838	32,887

(注) 前年同四半期の連結キャッシュ・フローは作成していません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	予想連結売上高	予想連結経常利益	予想連結当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	85,700	11,600	6,050	339.48

(参考) 平成 16 年 3 月期の個別業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	85,000	11,500	6,000	336.67

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当第3四半期におけるわが国の経済は、企業収益の回復や株価の上昇など一部に改善がみられるものの、雇用環境及び個人消費の低迷の継続等、依然として厳しい状況が続いております。

当不動産業界におきましては、人口の都心回帰の影響もあり、首都圏の新築分譲マンション市場は一部に供給過剰感が見られるものの引き続き堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社は首都圏において顧客ニーズに合わせた良質で価格競争力の高い新築分譲マンションを安定的に供給してまいりました。その結果、当第3四半期の引渡戸数は1,353戸となり、連結売上高44,827百万円、連結営業利益5,634百万円、連結経常利益4,603百万円、連結四半期純利益2,210百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別セグメント	売上高	構成比
新築マンション分譲事業	43,577	97.2%
その他の事業	1,250	2.8%
合計	44,827	100.0%

[新築マンション分譲事業]

新築マンション分譲事業におきましては、総戸数233戸の「クレストフォルム浦安ウイングステージ」などの自社分譲物件の売上計上により、新築分譲マンションの売上高は43,577百万円となりました。

[その他の事業]

その他の事業におきましては、管理戸数が順調に増え、不動産管理事業の売上高は489百万円、その他付帯事業の売上高は761百万円となりました。

【当期の業績の見通し】

平成16年3月期業績の見通しにつきましては、第4四半期に総戸数327戸の「クレストフォルム東京アクアグランディオ」等をはじめ大型物件の引渡しがあり、連結売上高は857億円（前期比11.9%減）、連結経常利益は116億円（前期比18.9%減）、連結当期純利益は60億50百万円（前期比18.7%減）と当初の予定通りを見込んでおります。

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ94億34百万円増加し、1,361億69百万円となりました。

主な要因は、マンション用地の仕入れが順調に進んだことにより棚卸資産が91億88百万円増加したことあります。また、株主資本は17億78百万円増加し、484億65百万円となりました。

当第3四半期末の現金及び現金同等物は13億55百万円減少し、315億31百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第3四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、新築分譲マンション開発のための棚卸資産の増加額が90億28百万円であったこと、また法人税等の支払額が73億37百万円であったことなどから、118億64百万円の支出となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第3四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、1億23百万円の収入となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第3四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による199億23百万円の支出があった一方、社債の発行により254億15百万円の収入があったことなどから103億85百万円の収入となりました。

【1単元の株式の数の変更】

当社株式の流通のさらなる活性化と投資家層の拡大を図るため平成16年2月2日付をもって、1単元の株式数を100株から10株に変更いたしました。

添付資料

四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第3四半期末 (平成15年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)	
		金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)					
流動資産					
1	現金及び預金	31,547		32,908	
2	売掛金	1,286		2,671	
3	棚卸資産	90,172		80,984	
4	その他の流動資産	4,794		1,493	
	流動資産合計	127,800	93.9	118,057	93.2
固定資産					
1	有形固定資産	7,786		8,002	
2	無形固定資産	22		19	
3	投資その他の資産	560		655	
	固定資産合計	8,369	6.1	8,676	6.8
	資産合計	136,169	100.0	126,734	100.0
(負債の部)					
流動負債					
1	支払手形及び買掛金	15,072		15,965	
2	短期借入金	4,425		600	
3	1年以内に償還予定の社債	4,500		4,500	
4	1年以内に返済予定の長期借入金	9,279		23,069	
5	前受金	4,915		5,219	
6	その他の流動負債	3,151		5,655	
	流動負債合計	41,344	30.4	55,008	43.4
固定負債					
1	社債	34,000		8,000	
2	長期借入金	12,120		16,753	
3	その他	238		285	
	固定負債合計	46,358	34.0	25,038	19.8
	負債合計	87,703	64.4	80,047	63.2
(資本の部)					
	資本金	12,499	9.2	12,499	9.9
	資本剰余金	12,190	9.0	12,190	9.6
	利益剰余金	24,033	17.6	22,179	17.5
	自己株式	256	0.2	180	0.2
	資本合計	48,465	35.6	46,687	36.8
	負債・資本合計	136,169	100.0	126,734	100.0

(注) 当期より四半期連結決算の開示となるため、平成15年3月期第3四半期の実績については記載していません。

(2) 四半期連結(要約)損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第3四半期		前連結会計年度	
		〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
		金額	百分比	金額	百分比
			%		%
売上高		44,827	100.0	97,256	100.0
売上原価		35,236	78.6	76,316	78.5
売上総利益		9,590	21.4	20,939	21.5
販売費及び一般管理費		3,955	8.8	5,629	5.8
営業利益		5,634	12.6	15,309	15.7
営業外収益		155	0.3	267	0.3
営業外費用					
1 支払利息		600		1,074	
2 その他		586	1,186	208	1,282
経常利益			4,603		14,295
特別利益			41		35
特別損失			22		61
税金等調整前四半期(当期)純利益			4,622		14,269
法人税、住民税及び事業税		2,218		6,903	
法人税等調整額		193	2,411	71	6,832
四半期(当期)純利益			2,210		7,437

(注) 当期より四半期連結決算の開示となるため、平成15年3月期第3四半期の実績については記載していません。

(3) 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第3 四半期	前連結会計年度
		〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕	〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		4,622	14,269
2. 減 価 償 却 費		79	116
3. 支 払 利 息		600	1,074
4. 売 上 債 権 の 減 少 額		1,385	198
5. 前受金の増加額(減少額)		303	1,794
6. 棚卸資産の減少額(増加額)		9,028	26,453
7. 仕入債務の増加額(減少額)		892	790
8. そ の 他		456	520
小 計		3,993	41,627
9. 利 息 の 受 取 額		1	31
10. 利 息 の 支 払 額		536	1,089
11. 法 人 税 等 の 支 払 額		7,337	6,052
営業活動によるキャッシュ・フロー		11,864	34,516
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の売却による収入		7	2
2. 有価証券の償還による収入		70	-
3. そ の 他		46	64
投資活動によるキャッシュ・フロー		123	61
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 長期借入金の返済による支出		19,923	29,764
2. 社債の発行による収入		25,415	3,893
3. 配当金の支払額		355	533
4. そ の 他		5,249	2,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		10,385	23,838
現金及び現金同等物の増加額(減少額)		1,355	10,616
現金及び現金同等物の期首残高		32,887	22,270
現金及び現金同等物の期末残高		31,531	32,887

(注) 当期より四半期連結決算の開示となるため、平成15年3月期第3四半期の実績については記載しておりません。